



会派のホームページが完成しました

志翔の会 NEWS

【発行】令和5年4月1日

連絡先：松江市末次町 86 発行責任者：中村ひかり TEL：0852-55-5065 FAX：0852-55-5533

あなたと歩む松江の未来

市長要望を行いました



一般要望

- 子どもの貧困対策
- 公共事業について
- 道路整備について
- 市街地・拠点の整備・安心安全なまちづくりにむけて
- 農林業対策について
- 福祉・SDGs対策について
- 多目的公園の整備等について
- エネルギー・SDGs政策について
- 地域づくり政策の実現にむけて

令和5年度重点要望 ①物価高騰対策について

○市民の生活を脅かす物価高騰に対し、継続的な支援策を図りたい。

○地産地消の上、地元の農作物を低価格で安定供給出来る施策を図りたい。

○児童・高齢者・障がい者施設などにおいて、コロナ禍での物価高騰が事業経営を圧迫しているケースが増えている。現状把握と支援策を図りたい。

○生活困窮者に対し、重層的な支援策を講じられたい。

令和5年度重点要望 ②まちづくり計画の推進にむけて

○松江駅～朝日町～伊勢宮町～白湯本町～東本町～京店～殿町～市役所～しんじ湖温泉へのまちあるき動線と交通水路の整備を求める。

○新大橋架け替えが間近となった今、北岸(東本町)のまちづくり構想計画を求める。

○旧松江市の市街地地域におけるコンパクトなまちづくりの構築を求める。また周辺集落地域においては、「小さな拠点づくり」の推進を求める。

令和5年度重点要望 ③市民に愛される新庁舎を目指して

○新庁舎を公共交通の要として、拠点間のバス直行便など、利便性とアクセスの向上を図られたい。

○新庁舎の案内や活用など、様々な形態の市民ボランティアを募集し、気軽にかつ継続的に市民が関わりをもてるような取り組みを図られたい。

○持続的に新庁舎周辺エリアにある地域資源を最大限活かすことが出来るよう、観光や関係人口の創出などと連携した総合的な施策を図られたい。

令和5年度重点要望 ④新型コロナウイルス感染症対策について

○引き続きコロナ感染症対策では、国の対策に呼応することも、市単の対策においても、withコロナを主軸においた政策を考えられたい。

○観光・飲食業・各種イベント・諸文化事業などの経済対策に十分な対応をすることも、市民が安心して外出出来るような啓発に努められたい。

○病院や福祉施設において「献身的な活動を続ける医療・福祉従事者」にこまめに情報交換の場を設け、その都度ごとの必要な支援策を図られたい。

令和5年度重点要望 ⑤人口減少対策・子育て支援について

○島根県と協力・連携を図りながら、若い世代の県外流出防止対策や、子育て世帯の夫婦等に選ばれる自治体となるために、積極的な施策展開・予算対策を推進されたい。

○子どもに対する保育・教育環境の充実や、医療費無償化対策など、若い子育て世帯に歓迎され、選ばれる松江に貢献出来る施策を推進されたい。

○男女共同参画社会の推進や、産後パパ育休も含め、すべての子育て世帯が、仕事と子育てを両立することを目的とした支援策を図られたい。

○子どもの遊び場・居場所づくりの充実に取り組まれたい。

特に、雨の日でも出かけることのできる場所の充実と提供に努められたい。

○民間企業や団体が主体的に運営するワーケーションやノードワークなど、関係人口の創出や、Uターンに寄与する活動を積極的に支援し、将来への松江市定住につながる取り組みを図られたい。

<p>広報委員長(子育て教育担当)</p> <p>なかむら 中村ひかり</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・教育民生委員会 ・島根原子力発電対策特別委員会 ・新庁舎建設特別委員会 ・議会広報等委員会 	<p>総務委員長(文化・SDGs担当)</p> <p>むらまつりえ 村松 利恵</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・建設環境委員会 ・まちづくり対策特別委員会 ・松江市都市計画審議会 	<p>副幹事長(地域福祉担当)</p> <p>いわもとまさゆき 岩本 雅之</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・建設環境委員会委員長 ・総合交通対策特別委員会 ・新庁舎建設特別委員会 ・国際文化観光都市松江市観光振興議員連盟副会長 	<p>幹事長(農業政策担当)</p> <p>いしくらしげみ 石倉 茂美</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会 ・六道湖・中海問題等対策特別委員会副委員長 ・松江市総合計画特別委員会 ・議会運営委員会 	<p>副会長(人口減少担当)</p> <p>いしくらのりふみ 石倉 徳章</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・経済委員会 ・松江市監査委員 ・島根原子力発電対策特別委員会 ・松江市原子力発電所環境安全対策協議会委員会 	<p>副会長(島根県連携担当)</p> <p>なんばいわお 南波 巖</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会委員長 ・玉井斎場管理組合議会 ・六道湖・中海問題等対策特別委員会 ・境港出雲道路整備促進(松江北道路)松江市議会議員連盟会長 	<p>会長(総合政策担当)</p> <p>かわしまみつまさ 川島 光雅</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・教育民生委員会 ・まちづくり対策特別委員会委員長 ・松江市総合計画特別委員会 ・斐川水道水道企業団議会 ・議会運営委員会
---	---	--	--	---	--	--

代表質問

令和4年第2回2月定例会(質問項目) 川島 光雅

新型コロナウイルス感染症対策について、職員定数問題と新年度組織改編について、行政のデジタル化について、少年法の改正について、介護職や保育士、幼稚園教諭らの賃上げについて、ホテル六道湖跡地の活用について、遊休施設の譲渡、貸付けについて、スローモビリティ活用のまち歩き観光の推進について

スローモビリティ活用のまち歩き観光の推進について

令和3年11月の第3土曜日を設定し、観光庁の助成を受けて交通モビリティ社会実験の「土曜つなぐナイト」に参加させていただいた。

6人乗りのこの電動カート・グリーンスローモビリティは早すぎず遅すぎずで快適に乗り、ゆっくりと夜の松江の賑わいと情緒を楽しめました。参加者の99%近くが良かったと答えています。これらを、松江市のまち歩き観光に導入する価値があると思うがその考えはないか伺います。



観光交通・生活交通の可能性を探ってまいりたい

自分(市長)も体験したが窓のないオープンな車で、低速でゆっくり走るといことで、見慣れた松江のまち並みがいっそもは一味違う景色に見えまして松江の夜を楽しませていただいた。全国的にも観光交通に活用されている事例があることから、観光交通や生活交通として活用を視野に入れ検討してまいりたい。(代表質問抜粋)

令和4年第3回6月定例会(質問項目) 南波 巖

ロシアのウクライナ侵攻と日本の安全保障環境について、新型コロナ対策について、働き方改革と市職員の採用について、外国人労働者の受入れの実態と課題について、市長から見た市の財政状況と行政改革について、ふるさと納税について、防災意識を高めるための施策について、道路管理に伴う機械購入について、横断歩道の安全対策について、インフラの長寿命化計画について、老朽化が進む水道管について、教員不足について、市長の教育感について

市長の市政運営姿勢について

市長は、将来ふるさとの役に立ちたいという確固たる信念を胸に、25年にわたって地域づくりの手腕を磨いてきたと言っておられます。この思いで松江市政のトップとして市政に取り組まれ、その力を遺憾なく発揮することができ

たでしょうか。よく自分の胸に手を当てて検証してみてください。

今迄は、現場主義、現場把握で対話主義でやってこられたが、今後は実績をどう積み重ねていくかでありませう。一つでも二つでもいいから施策を実現することが大事です。種まきは一応一段落としてください。施策の実現を決断することに軸足を置いていただきたいと思えます。

市役所執行部のなかで、政治家はあなた一人です。選挙で選ばれたのはあなた一人です。そのことを、肝に銘じて市民全体のことを考え英断し行動して下さい。

一方で、市の職員の方は、事なかれ主義に陥らず、思っていることを勇気を持って市長に進言して欲しいと思えます。(6月定例会代表質問・9月代表賛成討論より抜粋)

令和4年第4回9月定例会(質問項目) 石倉 茂美

市町村合併後の検証を生かしたまちづくりについて、松江水郷祭について、上下水道局の事業について、農業問題について

松江水郷祭について

質問

松江水郷祭が3年ぶりに六道湖東岸でありました。2日間での経済効果は幾らぐらいかお聞かせください。そして、花火大会での松江水郷祭推進会議の予算がどのぐらいで、詳細についてお聞かせください。

回答

2日間で約40万人の入出がありまして、2日間の経済効果につきましては、本市の試算で約15億円と推計しております。地域の活性化につながったものと考えております。今年の松江水郷祭推進会議の収支予算は約8、100万円。支出の主な内訳としては、花火打ち上げ費用が約3、000万円、警備等の安全対策費用が約1、600万円、テレビコマercialや新聞折り込みなどの広告宣伝費が約1、500万円、会場設営費が約1、200万円。また、主な収入として企業協賛金、有料観覧席販売、市民募金で約6、300万円、松江市からの補助金は1、700万円となっております。(代表質問抜粋)

令和4年第5回11月定例会(質問項目) 岩本 雅之

松江市総合計画MATSUE DREAMS 2030における5つの柱について、新庁舎の活用について、水辺の公園について、関係人口の創出について、地域の生活課題解決に向けて

新庁舎を生かしたまちづくりについて

質問

新庁舎の立地場所を生かしたまちづくりについてどのようなことを検討しているのか伺う。

回答

新庁舎の活用方法については、担い手づくりワークショップを開催して、新庁舎の機能や立地場所を生かした活用策を検討していく。そして、第1期供用開始後は、試行的に新庁舎を利活用しながら、効果的かつ効率的な方法を更に検討していきたい。新庁舎は、六道湖岸や末次公園、千鳥南公園、松江しんじ湖温泉駅と温泉街に隣接した立地にあることから、それぞれの施設と連携することで相乗効果が発揮され魅力あるまちづくりが実現できると考えている。そのため、現在取り組んでいる水辺の利活用のための社会実験や、湖畔公園の整備と利活用の検討、MATSUE 観光戦略プランの策定など、他の事業とも連携しながら、周辺エリア一帯としてのまちづくりを進めていきたい。(代表質問抜粋)

会派意見

松江市議会での代表質問を中心に、幅広い質疑が行われました。その中の一部ではありますが、会派の意見を紹介します。

子育て支援の充実を

質問

市立保育所で使用済み紙おむつを処理することについて、市の見解を伺う。

答弁

市立保育所での使用済み紙おむつの処理につきましては、保護者の皆様からの御要望を受けて、衛生面や感染症対策、持ち帰りの負担軽減の観点から、実施に向けた調整を進めているところです。※現在、実施済み

質問

兄弟姉妹で違う保育所に入所したケースでは保護者にとって大きな負担となる。今後どのような支援ができるか見解を伺う。

答弁

新規に入所申込みをされる際には、兄弟姉妹が同一施設へ入所しやすくなるよう兄弟姉妹加点を設けておりますが、令和5年度からさらなる加点を検討しております。また、既に別の保育所に入所しており、兄弟姉妹と同一施設に転園を希望される場合、現在には加点を設けておりませんが、令和5年度から加点を新たに設けることを検討しております。

竹島資料室に対する松江市の取組について

質問

竹島資料室は竹島について正しい認識を持つために大変良い場所である。島根県と連携を深めながら、もっと認知度を高め、入場者数を増やしていくための様々な工夫や取組を強化して頂きたいかがか。

答弁

松江市としては、竹島資料室から提供頂いたパンフレットや卓上のぼりの配布などにより、市役所本庁舎玄関ロビーや観光案内所において啓発を図っている。今後も各学校での取組などを通じ竹島資料室の認知度の向上及び竹島問題の啓発に努めていく。

会派東京研修から

令和4年10月会派で国土交通省に出向き研修を受けた。研修内容は

- ①立地適正化制度
- (コンパクト・プラスネットワークの取り組み)
- ②バリアフリー施策の動向
- (高齢者・身障者等の専用駐車場、トイレ整備及び公共交通機関利用、移動の円滑化等)
- ③河川環境行政における最新の取り組み
- (水辺を生かした観光促進)

中心的な研修「立地適正化制度」について

現状

地方の県庁所在地都市にあって近年人口の増加よりも市街地の面積は大幅に拡大した。今日では人口減少が進むとともに全国的に高齢者が増加している。この流れは拡大した市街地に高齢者を中心に居住者が疎になり、交通・買い物・介護などが社会問題化し、行政的にも経済的にも大変な時期を迎えつつある。

ねらいと効果

市民サービス機能や住民の生活利便性の維持向上(医療・商業・公共交通の維持)、地域経済の活性化(訪問介護・小売商業等)、サービスの効率化による行政コストの削減(公共施設やインフラの維持管理・ごみ収集等)、災害リスクを踏まえた居住等の誘導や災害対策、居住地の安全性の強化などである。

ネットワーク化

市街化区域等の範囲に居住誘導区域(人口密度の維持)と都市機能誘導区域(福祉・医療・商業など)を定め、コンパクトなまちづくりを推進。地方公共団体が中心の地域交通ネットワークの形成と持続可能な移動手段の確保・充実に推進する。

感想

松江市でも昨年既にこの方針が示されている。人口減少、少子化、高齢化の中、理論的な考え方や理解をしたが、市内中心部の空洞化、周辺部の衰退、農地の荒廃化の進展など課題の山積がある。今後とも土地利用制度の変遷はあることが中心部と各拠点とのネットワーク化の推進は必ずと感じた。

前回の記事で、県の昨年の出生数は86万人台には、「国の昨年の出生数は86万人台」の誤りであり、「県人口は5年後には80万人を」とは、「国の出生人口は5年後には80万人を」との誤りでした。お詫びして訂正致します。

(石倉徳章の「人口減少防止対策」についての一考より)